O CAFE
四級十キロに付
17$700
（サントス市場）

NAMBEI SHIMPO

（一）　第五十七號　昭和六年四月十七日（金曜日）

CAMBIO
日本 6$730
米國 13$580
歐國 4$770

南米新報

Proprietario e Director
Nanshu Sakaida
Redactor Principal
Tugue Kishimoto
Av. B. Luiz Antonio 29
Caixa Postal 1243
Tel.2—4606
São Paulo Brasil
Assignatura
Por Anno 30$000
Por semestre 16$000
Por mez 02$800

本日午后二時サントス果實市場に於ける海外輸出向バナナ商況

▼相場（房一打に付）
英國向四十二ミル
亞國向四十五ミル
アムステルダム向四十六ミル

▼市場安定

▼海外輸出高
昨日三万二千八七四房此價卅二コントス八七四ミル
本月一日より本日迄五萬一千四六二房此價百廿八コントス六三八ミル
本年一月一日より本日迄百六十八萬一千七三九房此價五千〇九コントス六二九ミルレイス
〔本月八日現在〕

言論

燈臺下闇し
農業危機に閑却されたるバナナ

従來カフエー栽培のみに眼が眩んで他の農事を顧る暇が無かつた我が在伯邦人農業界も近時は ご多分に漏れずカフエーの生産過剰に伴ふ稀有のクリーゼに遭遇して 今では ドコも彼處も四苦八苦の態である 而して之れが對策としては新たにカフエー以外の農業に乗り替へやうといふので其中には聖市の如き都會郊外の野菜作りに目を着けるものも尠くない 又我が邦人農界のみならずブラジル一般農業界の輿論が國力の充實糧食の自給自足といふ國家的見地から 何うしてもカフエー以外に他の農事を奬勵しなくては此國としては勿論さも有るべきことである

處がこゝに異樣に感ぜらるゝことは熱帶地獨特の天産たるバナ、の栽培が比較的閑却されて居ることゞ殊に 故郷の風土の關係で中には全く夢にも見られなかつた多くの同胞にとりてこのバナ、農作の事が自然冷淡なるも無理からぬ次第であるが 上掲サントス市場に於けるバナ、の商況を見たなら聊か意外の感無き能はずであらう 如くバナ、の需要は世界的で無限に販路を有するものであるが當國におけるバナ、の生産はまだ〳〵甚だ幼稚なる域を脱しないのである それだけ我が邦人農業者が將來この方面に割込み得る餘地が充分に在る筈だ

□

惟ふに當國が海外にバナ、を輸出し始めたのは ついに近年のことであるが 一時ぜはカナリー島から三百三十萬七千房 英に亞いで佛獨は他の輸出品を壓倒するやうな剛勢を示した程である 之れは一には輸出港たるサントスそれ自體がバナ、の生産地帝に在る爲めで 生産と取引が冶んど同時に最も容易に行はれ得たからでもある そしてその輸出先といふのは大概ウルグアイとアルゼンチンの兩國に限られ 歐洲への賣込みは到底問題にならない 否問題にならないのでは無い 即ち數年前當國より歐洲各地へ輸出したバナ、は僅々第一回の取引で 當時歐洲市場で市米各地よりヨーロッパむき輸

―北伯邦人の先驅―
日本の世界的國寶
「高麗伯爵」……（一）

荷も口に日本柔道の國際的價値を說く程のものとコンデコマの名を知らぬ者はあるまい又一たび脚を北伯アマゾン流域に入れば日本の總理大臣やリオの帝國大使の名を知らざる伯人の口からコンスルコンデコマの名聲を到る處で聞かされるであらう　中にはコンデコマを知らずして伯人の小供から恥をかゝされた日本の旅行者さへあつたといふ位だ　それ程我がコンデコマの雷名は大きい

然らばコンデコマとは何人ぞ　宇宙を呑み乾坤を吐き恰もアンデスの嶺を己が肉體とし武道に志を立てまだヤツト爲せる如き頑丈な骨かくに眠肩揚げのとれるかとれぬ時分に武道の威力を示し　向ふ所敵無きコンデコマ事講道館の大先輩六段前田亀千代その人である

彼は仙台の產　幼少の頃已に日本武道の國力を世界の大斗と仰がるゝ三船七段年世界を股に掛けて到る處で　時彼一代の武勇傳に特記すべき珍事伴は起きた　即ち當時同所へ歐洲の角力界で覇を稱するアスレチックの一團が呆氣にとられ　果てはその妙來合せ我がコンデコマへ試合を申込んで來たのだ　何がさて一方は何れも雲突く大男身長二米有餘體重百五十キロとして胴揚げをする始末　忽ち全メキシコに彼の名は日本柔道の誇りと共に響き渡つたが其間グアテマラ國やホンジュラス國の政府から柔術教師として招かれ　あつぱれ武士道の精神を遺憾なく宣揚しつゝ　何百弗中米に駐ること二個年の後アルゼンチン　チリー諸國を巡りて武者修業をしたが到る處　連戰連捷一九一五年伯國に入り爾來今日に至るまで北伯バヒ一流の劇場を借受けて柔道の道場を開いて外人に敎へ非常な名聲を博してゐたのである　其後キューバを引揚げた彼は佐竹信四郎と共にメキシコ市に乗り込み　同市に於ける第一級の茶帶をしめて稽古を載いた一人である

□

コンデコマの物語は二十年の昔に遡る　彼が柔道を世界に廣めた功績は實に偉大で曾て帝國駐劄の帝國公使だつた堀口九萬一が　メキシコに在勤して居た時即ち明治四十三年の頃コンデコマをキューバ市で初めて見たと言つて居たが　その時彼は既に全市に於て二年程前から道場を開いて外人に敎へ非常な名聲を博してゐたのである　其後キューバを引揚げた彼は佐竹信四郎と共にメキシコ市に乗り込み　同市に於ける第一級の劇場を借受けて柔道の道場を開いて外人に敎へ非常な名聲を博してゐたのである　其後キューバを引揚げた彼は佐竹信四郎と共にメキシコ市に乗り込み　同市に於ける第一級の茶帶をしめて稽古を載いた一人である

□

コンデコマの物語は二十年の昔に遡る　彼が柔道を世界に廣めた功績は實に偉大で曾て帝國駐劄の帝國公使だつた堀口九萬一が　メキシコに在勤して居た時即ち明治四十三年の頃コンデコマをキューバ市で初めて見たと言つて居たが　その時彼は既に全市に於て二年程前から

帝制の夢破れ

共和の聲全國に漲る

共和黨の大々的勝利に歸した總選擧

遂にアフオンソ王退位す

最近頻りに革命擡擢勃發し急激なる政變を豫想せられてゐたイスパニヤに於ては　國民多年の願望もだしがらず國王の公約幾度か繰り返されたるのち　一九二年專政が布かれてより八年ぶりの本月十二日　全國民の歡呼裡に總選擧が行はれたが　選擧の結果は果然共和黨が至る處に大々的勝利を得　迅くも共和の聲全國に漲り　本月十三日アフオンソ王（十三世）は遂に退位するの外なきに至り　帝制最後のアズナール内かく崩壞　アルカラ　ゾンバラ臨時内かくを組織して　イスパニヤは世界に本月十三日以後を以て共和國を宣言した

アフオンソ王

佛西蘭へ

【十四日マドリド發】昨日退位を聲明したアフオンソ王は明日家族を引き連れパリにご出發のお豫定である

政權を共和黨へ

讓渡す―

【十四日マドリド發】アフオンソ王退位されるや間もなくアズナール伯爵は政權をアルカラ　ゾンバラ　に讓渡した

共和國々旗

全國に靡く

欣喜雀躍の國民

【十四日マドリド發】本日午後二時三十分全國の隅々に共和國の前途を祝福する共和國々旗が高く掲揚され　國民は新天地面に立つて欣喜雀躍して居る

英國皇太子殿下

本國へ御歸還

「アルランザ」西班牙へ

【十二日リオ發】ブラジルご訪問の英國皇太子殿下及びジョジ殿下には去月廿六日以來國内各地をご遍歴　伯國官民一同の熱誠なる歡迎を受けさせながら　商業農業狀態を視察遊ばれたが　愈々本日午後六時過ぎリオ港出帆の　アルランザ號にて本國へご歸遊ばされた

伯國官民の

歡待を御感謝

カテ、宮殿で歸國の御挨拶

【十二日リオ發】ゼツリオ大統領は夫人同伴　副官　祕書の自動車にはゼツリオ大統領ご同乘　ジョジ殿下のカーロにはメーロ　フランコ外相ご同乘して　午後五時三十分英國皇太子殿下にはパナマ帽にジヤケツといふご輕裝にて隨行員一同を從へおん着　ゼツリオ大統領以下かく員一同をはじめ陸海軍參謀總長その他聯邦政府の高官連に迎へられて花の間に歩を進められ　少し遲れられたジョジ殿下を待つて『晴れの間』にご入室　同所にてお二方にはゼツリオ大統領その他の人々に對し丁重なるご挨拶をなし　伯國官民一同の熱誠なる歡迎にご答禮遊ばされた

六時同宮殿をご退出　皇太子の自動車にはゼツリオ大統領ご同乘　ジョジ殿下のカーロにはメーロ　フランコ外相ご同乘して埠頭に向はせられた

バイヤ　レシフエ兩港

御通過

【十三日リオ發】英國皇太子殿下ご乘船のアルランザ號はバイヤ港にて六時間延遲したのち　少し遲れられたジョジ殿下を待つて『晴れの間』にご入室　同所にてお二方にはゼツリオ大統領その他の人々に對し丁重なるご挨拶をなし　伯國官民一同の熱誠なる歡迎にご答禮遊ばされた

【十三日リオ發】英國皇太子殿下ご一行は該地にて州政府の歡迎を受けさせられご上陸　街を散歩遊ばされたが英國植民者一同お招待に應じサンサルバドールホテルにて朝食をおとりになつたレシフエ港にては上陸をお見合せになつて　アフオンソ王とご會見の豫定である

初秋を飾る

全伯陸上競技

參加人員六百名

サンパウロ青年會主催全伯陸上競技大會はいよ〳〵近日に迫り　内外人間にセンセーショナルエステ聯合の下に出場すべき多大の好感をもたれ種々便宜を與へられてゐるが　全青年會代表者達は毎日大會準備に忙殺されてゐる　現在までに參加を申込みたる青年會は

▼ノロエステ線
リンス　ブロミツソン
▼パウリスタ線
▼東京植民地
▼イグアツペイ
〔レジストロ　桂　セツテバラス三青年會合併〕
▲聖市郊外
コチヤ　モロンビー　カラビクイーバ

以上の如くであるがリンス　ブロミツソンの青年會ではノ現政府は國民教育機關の完備に全力を傾注しつゝあるが前教育局長アルシル　ボルシヤト氏の懸案にかゝる社會經濟大學設立草案に對して　聖市執政官は同意を與へてゐるに拘らず　急進とうの勢力が依然として現政府に鼎の輕重を問はんとするに至るは全市民が右とか左とか政治を欲しないことを示すもので現政府が一九一四年以前の右と政治を現出せんとする傾こうにあるがためである

十四日迄の票數を見るに
保守　五八、三八七
急進　六二、九一五
社會　一六、七一五
にて急進は保守より多きこと四千五百票以上である

聖市に生れる

社會經濟大學

教育界にもたらす福音

師範學校小學校　改革問題等が今日に至り尚四千票の大差かあらうとは豫想外であるウリブルー中將の宣言と數ケ月以前より選擧豫定行動をなしてゐたに拘らず　急進とうの勢力が依然として現政府に鼎の輕重を問はんとするに至るは全市民が右とか左とか政治を欲しないことを示すもので現政府が一九一四年以前の右と政治を現出せんとする傾こうにあるがためである

十四日迄の票數を見るに
保守　五八、三八七

貧しい小供への

復活祭

十三日バルケデブリンケードに於て「タルデ　ダ　クリアサン」主催となり當市の貧しい兒童達のため復活祭を催したが　當日近傍より集まつた　通航路權を譲り合ひ全航ろの　統制を具体化すべく數度にわたつて協議を重ねたる結果　今回はいよいよ二社間に協定成立　郵船會社南米東岸線は五　ヴエノス、アイレスへ　延航に決定した　これがため　商船は南米東岸二線を併有することゝなつた

お傳へ下さい」
六時出帆豫定のラプラタ丸は荷積の都合上遲れ七時出帆した

商郵両社間に

協定成立す

郵船南米航路を徹退

海運界不振に照し大阪商船と　郵船會社南米東岸線は五　ヴエノス、アイレスへ　延航に決定した　これがため　商船は南米東岸二線を併有することゝなつた

丸より　アフリカ丸　ハワイ丸　アラビア丸　アリゾナ丸の五隻（何れも一万噸級の優秀貨客船）を以て「ケープタウン」碇泊中を利用し　毎月一回の定期にてリオ　サントス　ヴエノス、アイレスへ

共和國々旗

全國に靡く

欣喜雀躍の國民

【十四日マドリド發】本日午後二時三十分全國の隅々に共和國の前途を祝福する共和國々旗が高く掲揚され　國民は新天地面に立つて欣喜雀躍して居る

一路西班牙へ

【十三日リオ發】レシフエ港よりアルランザ號は一路イスパニヤへ向け出帆した

リスボアからはブツス　モーテ式飛行機にてマドリドに向けすり廻り　五時盛大裡に散はせらるゝ筈にてそこに於て曾たがベルナンブコ州政府の盛んな歡迎を受けさせられた

蘭が安くて

引合はぬ

邦人養蠶家の談

【ノーババウリセア通信】カフエー農業から養蠶に鞍替へするものも尠くないやうだが　こゝ養蠶界も蘭値が上らず不振狀態を續けてゐるが　一養蠶者は次の如く語つてゐる

「革命騒動以後カンビオの大暴落　カフエーは將來見込みがたゝないので養蠶に目を付け　斯業に從事してゐますが　昨年一月は七五グラムの卵で十キロの收繭を得　キロ三ミル五百レース　三月養蠶は七五グラムの卵で八十四キロを得たが　値段は未だに不明であります　が四ミル見當と思ひます　今回は九十グラムの卵を使用して居りますが約三十日以上の日數を要すと思ひます　製繭の方で如何ほど好成績を擧げても値段が安いから分合作では双方とも利益がありません　加之カンピーナス絹絲興業株式會社からの支拂も非常に長延して當地方へは昨年十一月迄り出した繭代金を今以て送つてきません　仝會社では卵の配布を四月一パイにて打切り八月また開始するそうです

反對黨

斷然優勢

亞國總選擧後報

【十四日ブエノス發】革命後第一回の總選擧として全國の注意をひいて居る本月四日の總選擧は各地ともに至つて平穏裡に行はれた

保守黨系の中央政府を有する聯邦選擧は勿論保守黨の勝利であらうとは一般の豫想するであらうとは一般の豫想するとことだつたが八日より開票の結果を見ると豫期は裏切られて急進黨が取和より第一位を占めて居る選擧第一區は急進黨の中樞部であるから　保守とうは大の勝利を豫想してゐなかつた

不景氣對策に

「ラグビー」がボン

ビリグ井に出來たカザードチーム

手始めにリンスへ遠征

【ビリグキ通信】全伯ラグビー蹴前大會に刺戟されたビリグキ同カザードチームは王木聖報のカザード連　ラグビーは青年のみに許されたスポツーじやない　俺等開拓者にはもつこいの遊びじやと云ふので　ラグビーは青年のみに許されたスポツーじやない　俺等開拓者にはもつこいの遊びじやと云ふので　支局主任　青木時報支局主任の手を通じてリンスカザードチームへ挑戰してゐるから　近く華々しく對戰するであらうが恐らく邦人間では既婚者のみのラグビーチームを編成し　目下石光氏のコーチを受けて盛んに練習中であるが　チーム中には　高橋等の現役重鎧選手が頑張つて居るので頼る鼻息が荒い　去月十五日の對獨身者との試合では　獨身軍四トライ（十二点）に對して一ゴール　四トライ　スコアにて凱歌を擧げてゐる

チーム員の大半は四十才以上　奮闘は正しく往年の　意氣を見せてまだ〳〵三一年の不況風位吹き飛ばすには朝

天長節祝賀

廣告募集

聖上陛下第三十回の御誕辰を迎へ遙か海外より奉祝の意を表する方は本紙を御利用下さい

南米新報社
營業部
電話二四六〇六番
郵函一二四三番

中島總領事夫妻

いよいよ母國へ

ルス驛の華やかな見送り

十一日在聖市諸名氏をエスプラナーダホテルに招待　歸朝者達に次の如く挨拶をなした

中島さん
「長い間ご厄介になりまーだ　いよ〳〵お別れです　乗船する迄何かと忙しく落ちつかなかつたがすつかり安心しました　在伯中は種々な問題が起きて　在伯諸氏のために一向まとまつた仕事を遂げなかつたのは殘念です　日本へ歸つたら文筆を以てブラジル宣傳に盡そうと思つてゐます」

中島夫人
「わざ〳〵お見送り有難う存じます　何卒貴紙を通じて　在伯邦人に宜しく　ご成功を祈つて居ります」

五ミルの

カラレットに

米は安値で賣れぬ

【十四日バストス通信】ランシヤリヤ驛を去ること四十二キロ奥のバストス移住地は目下の不況に入植者もなく　加ふるにカフエー制限令に崇られて　組合直營の耕地も自由植民者もカフエー植付は出來ず　他の農産物に轉換を工夫しつゝあるが　何を云つても運搬に不便な地點にあるためカレツト一袋（六十キロ）につき九ミル内外をとられては　現今のマンチメントの安値で賣り拂つても收支償はず　二百とも相當痛手を受けてゐるらしく　四苦八苦の有樣である

郵便取扱

が整理される

日會の手で

久しく懸案中なりしペンナポリス驛奥共和植民地同志會にてはかねてより同會小學校公認問題に就き極力盡力中のところこの程いよ〳〵農村小學校として當局より認可を受けた　目下伯國教師を招聘して兒童の勉學に勉めてゐる

共和植民地の

農村小學校

公認許可を受く

【ペンナポリス通信】ペンナポリス驛奥共和植民地同志會のメンバーは次の如し

監督　滿田（五九）
主將　吉井（三五）
石塲（四五）宮本（四六）蓮沼（三七）西村（三三）坂本（四七）下川（四二）服部（三八）高橋（四三）滿田（二五）里見（三五）中川（三〇）中義次（二七）森山（四六）中島（二六）

因にビリグキガザードチームのメンバーは次の如し

潮ホテル

櫻節　乾魚
三共商會
SANTOS　前田太郎吉

宅地

市街地
英國線　マウア驛市街地
面積　十二米―四十米
地價　三コント二百（現在六コントス）月拂廿五ミルで未納の分九百九十ミルのもの　そこでチヨイトな神樣の言ふこと聞ねちよくれ　悪しきことは言はんでな……

希望社社友各位

謹啓
同志ノ皆樣ニハ益々御清健ノコト、存ジマス
ブラジル聯盟ノ進展モ兄等ノ御聲援ト壯烈ナル紹介戰ニヨリ今日ノ世界的不況時代ニ超然トシテ同志ノ加盟申込ミ日ヲ逐フテ隆盛ト如何ニ希望社運動ノ底力ノ偉大ナルカニ驚ク　回顧スレバ**ブラジル**聯盟生レテ滿一ケ年　ソウダ一九三〇年四月十一日孤々ノ聲ヲ揚ゲテ僅カニ一ケ年ニ七百ノ同志ハ悲愴ノ決意ヲ寺ツテ集ツタ　今迄ハ同志糾合ニ一意專心シタ　マダ數ノ問題ダ年内マデニセメテ二千ノ大衆的同志ヲ築キ上ゲル迄ハ默々奮闘ヲ續ケント誓ヘルモ新タナル今日本社ヨリ意外　意外ニモ後藤先生ヨリ歐洲ヨリ歸朝早々疾風迅雷電光的瞬敏サヲ以ツテ　**ブラジル**視察ノ大使命ガ希望ノ日本編輯部主任佐藤勇香氏ニ下ツタ何時モ乍ラ本社ノ小氣味ヨキ行動ニ驚ク
吾等同志ハ此ノ與ヘラレタル好期ヲ逸シテハイナラヌ此ノ好期ニ抱負ノ實現計畫ノ完成ヲ確立サセナクテハナラヌ　佐藤氏ニ御目ニカヽル日ノ迫リツヽアリマス我等モ惠マレタリ　母國ノ同志ノ如ク茲一二年中ニハ後藤先生ノ御來伯モホヤ決定　佐藤氏ノ來伯ハ其下視察ヲモ兼ネテ來ラレルノデス
既ニ本社ヨリ全同志ニ差上ゲタル佐藤氏並ニ國際部主任島田文雄氏ノオ手紙ニアル通リナレバ其ノ節ハ宜敷ク御願ヒイタシマス
尚視察日程ハ同氏着伯後數日中ニ發表イタシマス　皆樣ノ御希望御計畫等各地ノ地方主事ト御相談ノ上出來得ル限リ速急ニ私宛ニ御通知下サイ又地方主事未定ノ地方ハ適宜オ通知願ヒマス
猶著書モ多數着キマスレバ前以ツテオ申込ミ置キヲ願ヒマスゴ勘問ノ際オ屈ケイタシマス
佐藤氏迎ヘニ行カントスル有志ハ**サンパウロ**移民收容所ノ豫定デアリマシタガ同所廢止サレマシタニ就キ**サントス**港四月二十五日朝着ノ**ハワイ**丸マデゴ參集願ヒマス
尚歡迎會日時塲所ハ本紙上ニ於テ發表イタシマス
一九三一、四月一日
セントラル線**イタケーラ**驛
希望社**ブラジル**聯盟
豐吉眞水路

秋風渦語

秋潮漲く漲らんとして窓外の葡萄棚の間を傳ふ一陣の風は落寞としてその赤茶氣た大きな葉を一ひらまた一ひら散らして行く　げに　はや秋が訪れたのだ例に依り久しぶりに秋風漫詩と出かけやう

▼眼り無き蒼空を仰ぎつゝ考へ野暮と申します　私が七八年前に刊した南米評論でも讀んで載いてから物を言つてお貰ひしたいもんです

▼同仁會改革問題にしろ然り　一体全体ブラジルでは誰がいの一番に正論を吐いて騒ぎ出しましたかいな　そして其時分改革派の正論に反對し横車を押した者に今日改革呼はりをして居る奥の皖あり　世の中はどこまでもデタラメなもの

▼私はシチクドイ事は大嫌ひで　面倒臭い小刀細工は猶以て厭ひです　何年かの昔やつて〳〵やりぬいた同じ事を二度も三度も私に蒸し返せと言ふのでありますか　勝手にしやがれ

▼新聞の檢閲檢閲でおどかされ　萬事沈默ハイ〳〵で居られるうちが即ち天下泰平　だが　あしたの日は判らん　出もの腫れもの時と所きらず

▼何を言つてゐやがるだいそんな事が邦人社會の一大事とあつてタマルもんかいもつと目玉を大きく開いて天地無爲の相を觀ろ　觀えなければ　ドチラかに味方をしろ　それが能きにや新聞なんか賣の役にも立たん廢めて仕舞へたとさ

▼世の中は廣い今更吾輩をして踊らせやうと頻にオダテる狐もあるし　お氣の毒樣　まだオダテの馬に乘るほど氣は狂つて居らツしやいません

▼何んぼオダテても此の先產一向踊らざるが故に業を煮した牛氣狂あり曰く態度を明かにしてドチラかに味方をしろ　それが能きにや新聞なんか賣の役にも立たん廢めて仕舞へたとさ

▼口には稅金は掛らぬ　默つて饒舌らせて置けば言ひたい事を云ふ　態度を極めろか　そこで全く餘計なオセツカイ　そこでチヨイトな神樣の言ふこと聞ねちよくれ　悪しきことは言はんでな……

▼第一汝の新聞は小供のケンカの手先を務むる爲めに與へたものではないぞよ　第二不偏不黨の看板はヌンカグテでは無いぞよ　第三やせても枯れても汝の新聞としての理想に生きよ　行くべき道を行け　第四もつと〳〵太切な新聞として使命が有る筈ぢや　第五新聞が俗人共の糞の役に立つちや大變ぢや　それこそ一大事ぢやぞよ

▼てな事でありますから　今更私んとこの態度を明にとか何んとか文句を云ふ人を稱して野暮と申します　私が七八年前に刊した南米評論でも讀んで載いてから物を言つてお貰ひしたいもんです

Fabrica de Macarrão "SOL"
K.ITO
Est. Araçatuba Linha Noroeste
朝日製麺所　伊藤嘉平治

USHIHO HOTEL
Rua Rangel Pestana, 44
Caixa Postal, 328
Tel. Central 1924
SANTOS

K. IMAI
M. TAZAWA
齒科醫
今井　田澤
三　街ドータルフ　ロイレンセンコ

MOVEIS
CASA TOKIO
家具はカーザ東京へ
邦人家具商の古參
RUA STA. EPHIGENIA, 11-A
TEL 4-6487 CAIXA 1005

HOTEL HIRAOKA
L. Sorocabana E. Alvares Machado
旅館　平岡
日本人諸兄の爲めに宴會のご便宜を
親切丁寧に取り計いいたします
レブーロ植民地入口

調劑は正確に迅速丁寧に
藥品は精選
日本藥局
地塞市街二番
電話二六二五
郵函二六七五

歴代總領事「去來の跡」(4)

藤田敏郎さん（二）

●人格者藤田總領事

現代の人々殊に出稼ぎ地においては金が物を言ふ

と其の度を失するせいか人かくなぞは一こうに尊重せられず　カフエー樹の五六萬本も持てば一廉のジンカクシヤと自他共に許すやうな風にも觀えるが　こんな人かく觀が横行すると其國は危くその民は空しくなるであらう　金に天下の廻り物だが人かくは人之れを望んでも一朝一夕處か一朝一夕にしても得られるものぢやない

在伯邦人間にはヤレ日本人會だヤレ組合だ青年會だと會々病しようけつの有様だが巷説に依れば一つとして創立當時の理想目的に進むで居るものなく公衆の機關であるべきその會が二三會員の過度の熱情やら私情やらで滑かに運轉し得ないと傳へられて居る　これは何んの爲か？　端的に言へば人がないからだ　人がないとは人かく者がないと云ふことだ　藤田さんを若しカタクナなクリスチヤンと云ふものがあるとせばその人は禍なるかな　天國に入ること能はざるべし　藤田さんの任期は僅々二ケ年であつたが　その間に同胞移民の就働してゐる耕地といふ耕地は殆ど巡りつくした

その足跡はミナス　マトグロッソ及び南三州に及んだ　故にこれらの地方に遊ぶ旅行者が伯人から「コンスル　フジタは何うしたか」と問はれて意外の感に打たれる　人かくはお世辭でもない金でも無い　また仕事の量でもない漢和大辭林によると「統一せる意識を有し自由なる意志を有し道德上の責任を受け得る資かくある者」とある　美人に對しては愛慕の情を感じ人かく者に對しては敬慕の情を發し死ぬ迄その人が懐かしく忘れ難い

●酒と藤田さん

酒は百藥の長とある藥も盛り方で毒ともなり藥ともなる　藤田さんは酒を斷然口にしない　酒呑み連は「だから話せない男」と陰口したものだが元來彼は酒客黨に屬しその性酒を欲すれども其害を知つて殉教者的に禁酒したに過ぎない　氏が明治十八年布哇はホノルヽ頃の逸話だが　時の在ホノル、領事藥たるべき酒を毒にして呑むワ呑むワ餘り浩然の氣を養ひ過ぎて白樂天ソツチ除け領事夫人の悲歎を見るにみかねた藤田書記生　一夜官邸に於て酒宴たけなはなる頃合を見計らひ突然コジーニヤに這入り孤冠り五斗樽の栓を引き抜いて知らぬ顔ゝゝゝコラ酒を持て來いの連發に領事夫人が此の事實を明かしたからたまらない「コラ藤田　貴樣は賣にケシらん奴だ」とゆで蛸に赤インキを塗つたやうに憤つた、、、が出世の緒モウ一つ

是れは明治三十五年頃北米シカゴでの話　氏は當時たしかまだ書記生だつたと記憶する　時の在米公使故小村壽一氏（日露役當時の外相）がシカゴに立寄り領事館邸で日本人の乙馳走にあづかつた　酒三更に及んでも座に在る藤田書記生が一滴も口にせず所謂藤田流を押し通してゐた所を見た豪傑小村公使「此奴小癪な」とばかり酒の勢で居合す主客打ち交り矢庭に藤田書記生を仰向けにして無理矢理口に酒を注ぎ込んだ　こんな風で氏はとう〳〵我を通して公使を驚かした　馬を川に導く事はできても飲みたくない水は飲ませられねといふ西諺を文字通りに實行した　藤田さんは若い時代から己に立派な人かく者だつたことを知る好資料である

【冠無理】

創作　西瓜の味

堀田照夫

一度は誰でも思ふのだが　こんな苦勞をするのならブラジル三界迄來るのではなかつた　良助もそう思つた一人だつた　實際始めて經驗するフアゼンダ暮しは辛らいものであつた　言葉が通じないのは覚悟の前とは云ひ乍ら　とにかく日本人として一番難儀なのは　野菜が無いことであつた　園主から貸與された　一俵の小米と　一斗のフエジョン（豆）と　黒土の様な砂糖と鹽と　バンニヤと　バカリヤウ（これは日本語の馬鹿野郎ヨのからをかきよせて行く後に通じて　オカシかつたが）の一匹と　大事な食料であつて　その他はいろ〳〵　苦心して集めねばならなかつた　話にならぬ慣れない土地で　その日〳〵の食物を世話して行かねばならぬ義姉の苦心は　なみ〳〵ではなかつた　始めて日本人移民を迎えたこのカフエー園には日本人にとつて必要な野菜がなかつた

どんなに苦心して見てもバカリヤウはバカリヤウの味としてヽ；　殊にどうしたのか砂のまざつた小米は　嫌な臭がして仕方がなかつた

フエジョンの煮方もわからなかつたので　米と一緒に小豆飯を焚く様にして食べて見た

バンニヤほどんなに焚いてゐゝものか　唯一の調味料として聞いてゐたので　汁に入れて食べて見たが　良助には一番きらいなものであつたき候の爲でもあつたろうが　不味いものを食べるのでは　皆んな弱つて行くばかりにさえ思はれた　まづオイシいのは香香畑に行く様になつて　こんな貧しいものばかり食べてゐたのでは　とうてい永くやつて行けるものでないと云ふことが　痛切に思はれる様になつた　もう二三日で十一月の終る頃であつたが　良助一家は米の植つけで忙しかつた

これも耕主から與へられた分厚の重たいエンシヤーダに直角に柄をつけたので　ウンコラ　エンコラ兄夫婦がミイリヤウ（これは日本語の高い中にグラかかきよせて行く後に通じて　オカシかつたが）の一匹と　大事な食料であつて　その他はいろ〳〵　苦心して集めねばならなかつた　話にならぬ慣れない土地で　その日〳〵の食物を世話して行かねばならぬ義姉の苦心は　なみ〳〵ではなかつた　始めて日本人移民を迎えたこのカフエー園には日本人にとつて必要な野菜がなかつた

高いカフエーの味であつた

▽

畑に行く様になつて　こんな貧しいものばかり食べてゐたのでは　とうてい永くやつて行けるものでないと云ふことが　痛切に思はれる様になつた　もう二三日で十一月の終る頃であつたが　良助一家は米の植つけで忙しかつた

これも耕主から與へられた分厚の重たいエンシヤーダに直角に柄をつけたので　ウンコラ　エンコラ兄夫婦がミイリヤウ（これは日本語の馬鹿野郎ヨのからをかきよせて行く後に通じて　オカシかつたが）の一匹と　大事な食料であつて　その他はいろ〳〵　苦心して集めねばならなかつた　話にならぬ慣れない土地で　その日〳〵の食物を世話して行かねばならぬ義姉の苦心は　なみ〳〵ではなかつた　始めて日本人移民を迎えたこのカフエー園には日本人にとつて必要な野菜がなかつた

▽

二年生樹の廣いカフエー園には一本のマモンの木蔭もなくてその上ブラジルの暑い盛りに來てゐるので　拭ふても拭ふてもボタ〳〵落ちる汗をどうする事も出來なかつた

カミーザもカルサも休一面の汗になつて仕舞ふのであつた　そしてまだ陽の高い中にグツタリして家に歸つて行くのである

氣候に慣れない國で……殊に予想以上百姓仕事は無理をする仕事であつた

その上食物が不味いので皆んな營養不良になつた

▽

三週間過ぎた

こんな野菜なしの不味いものばかり食つてゐたのでは　今んに死んで仕舞ふだらうと良助一家の皆んなが思ふ様になつた

食後……日暮れ迄の時間を利用して　良助と兄とは食べ物を探すことにした

▽

この夜々　良助は夢を見た

見る夢〳〵が食物の夢であつた

ある夜の夢には銀色の大皿に盛上げられたなまのキヤベツに向つて　豚の様に突進して行く醜い自分自身の姿を……

……醒めてから良助は泣いた……いろ〳〵夢を見たすべて食物のゆめであつた

一度だつて別れを惜んだ彼女のゆめは見られなかつた

その中良助が一番よく見たのは　なんと云つても新鮮な多人參　大根　どんぼう　玉菜　トマト　南瓜　きうり　新菊　セリ　小芋：等：等：々

それは實に野さいの大洪水であつた

野菜が食ひたい　なんと云つても　サヤイが欲しいな……野さい畑の中で産聲をあげた様な日本人に野さいがないなんて　お天道樣も聞こえませぬ

無理矢理に呑み下して戀人を探す様な氣持で野さいを探しに出て行くのであつた

▽

その翌日の晩餐

貧しい良助の食卓を飾つてゐる二いろの青い食物　あつた

昨日　ドミンゴ一日を費やして　隣耕地の同胞を尋ねて聞き出して來た（それは實に良助にとつては金鑛を發見したと云ふ喜びに似たものであつたが）

とにかく珍らしい野さいであつた

だ彼女　皆んな舌鼓を打つておいしそうに食べた　その一つはマモンの一夜積であり　一つはバカリヤウと一緒に煮られた：：：：一を二に割り　二を四に切つて　更に八つに十六に：：：：三十二を六十四に：：小さく切つてきざまれた青い若い　實に〳〵西瓜の煮たのであつた

▽

煮たメランシヤにビイターミンBがある無いは別として　一生この西瓜の味は良助の忘れられない思出であつた

（プロント）

一九三一、三、一五作

窓人の結婚

本紙文藝寄稿家肚友在ブロミツソン窓人間崎之雄君はかねて出雲大神信心中の處その熱心なる信仰空しからず本月十二日多羅間鉄輔氏夫妻の媒酌にて良縁坂本惠子さんと芽出度華燭の典を擧ぐ

短歌

折にふれて

アルトビメンタ　白鳥

すこやかにありてぞ己が我も通れ臨終の苦惱たれか知らん

くりやにて子を呼ぶ母のその手には　一つゝみの菓子にぎられてあり

雨降ればまだいえきらぬ胸の傷　思ひ出されて一人なやまし

雨の夜は何かは知らぬ淋しさに　君戀ふ思一しほに燃ゆ

病む姉に

白百合

とつくにに病みやつれたる姉君の　長きまつ毛の露の玉のわびし

うつそみの辛き數々のたまひて　咽びし姉のいたましきかな

人の身のことわりならめ病む事も　只君のみの悲しみならじ

姉君よ知り給はずやいもや子の　身に代へても祈る心を

ひたぶるに死を　願ひし姉の氣の　生に向くらし今日の嬉しき

其の昔名も高かりし一葉の　歌も逆境の賜ときく

折々の心のすさび筆にそめ　七五の道に生を求めん

詩　山羊仔

聖市　たけし

朝霧こめる秋の街　道や遠けき石疊

情冷たや現世に　鞭をのみ怖えつ

頭を垂れる　山羊子いとし

親の許離れて　汝はそも幾歳ぞ

固き鎖や人の世に　首を繋がれ

あと振りかへる　自由さへ持たじ

流るゝ月日も夢の間に　身をまかす鎖の鈴音

とはいへ汝の仇敵　讀憎きものへ

默つて乳實る　山羊子の哀れさ

並樹の綠葉目に入らず　休疲れて歩めづも

我らが兄弟　こぎたならし可弱き人へ

頭をもたげ乳實る　山羊の心ぞ可戀し

雨降る日

白鳥

しと〳〵と霧にまぎらう　すゝり泣くよな雨が降る

空は灰色やるせなき　私の心に似たる色

言ふすべもなき淋しさに　もだへる魂は

降るぬか雨のそれに似て　しく〳〵と啜り泣く

居間の机に身をよせて　悲しくおはりし初戀を

思ひ出して泣く乙女　外はぬか雨灰の色

民謡

夜旅

堀田野情

見やれ目標の一ツ本椰子の上に　月が懸つて光つてる

サアサ急ぎましよ　今ひと走り

黒馬も月夜にや　急ぎます

心ほそぼそ寢よとのかねが　耕地に響いて　灯が消えた

【川柳一家吟】

川柳オボロ吟社同人　澁川蓬春

勞働の誇りを忘れた人ばかり　血みどろの姿へ又も受ける傷

洪笑の後が寂しいたまらない　語り合へば皆んな泣きたい人達だ

牛ほど働いて叱られる　哀願へ耕主は慣れた顔でむき

借金の成るカフエーでありました

齒もはえぬ中から權利泣き叫び　臍が出てゐても挨拶する子達

惠まれた子を餓鬼だとはなさけない

櫻咲く國と白髮の父の癖　氣の毒な人だ遊んで活きる人

天地禮讃

榮光花

どろ水に感謝しながら蓮が咲く　けしの花にもはつきりとした個性

一粒の種子の尊とさみのる秋

K. IMAI　M. TAZAWA
齒科醫
今井競　田澤穰
三街ドータルフ　ロイレセンコ

尋人
山口縣人　村田フジ
急用アリ　居所知ラセ
（在本社　諏山）

Agencia Correio do Guayauna São paulo
聞新善愛類人
社支米南
（共料送）スイレルミ七年ケー

種各物及器銃
切一繕修他其
店器銃邊渡
八一ナアシリブンシンマルイ市聖
九六七三一二　話電

M' FUZIY
Telephone 43　Promissão
買仲物産農
店理代車動自號トツペイウ
人正井藤
三四　話電　ンソツミロブ

HOTEL JAPONEZ
館旅本日
平心山冲
前驛ールウバ

CASA JAPONEZA
Hiloshi Hisaługu
C.P140　AVANHÁNDAVA
品用日貨雜外內
切一他のそ酒洋
均次久
〇四一　函郵　驛バーダンアニバア

Armazem Seccos e Molhados
N.UEHARA
Largo 7 de Setembro No.16　Tel.1804
SANTOS
賣販托委買仲物産農
店商原上

珈琲精選所　精所所　アグアリンパ　殖民地內
バーツサラア　所務事庫倉　驛バーツサラア　五話電八〇二函郵
店商瀨安

YONAMINE
商買賣物産農
郎五仁嶺那與
六三三ヨジイエフルドナセアル
七三六一ルラトンセ話電
ストンサ

で町ナーリツエゼ
一番安い店は…
山下藤太郎商店

BAR Kitice
セチキルーバ
平軍瀨吉
スンリ
番二　ロブンテツセ　ダーニベア

サンパウロ案內

齒科醫院
村上眞一郎
コンデ、デ、サルゼータス十二
電話　二一三〇二九

最新流行型の御註文は
石井洋服店
コンデ街四三
電話　二一一三五〇

和洋お料理
鶴乃家
コンセレイロ、ブルタード四十三番
電話　二一六七六七番

お料理
あをやぎ
コンデ坂上三十三番
電話　二一一九四八番

靜かで美味で安價な食堂
御宴會御家族連
御食事（食券三十回分五十ミル）
簡易食堂
コンデ街卅一番

洗濯と染物のご用は
横溝洗濯染物工場
コンデ街六二番

家具製造販賣
中山伴一郎
ルアグリセリオ一六二
電話七一四四七〇番

公認建築測量技師
原田政平
ルアバロンデバラナビアカバ一番九階五室
電話二一三三六四

宅診……午後二時迄
住診……隨時
山田醫院
コンデデサルゼータス二〇番地
電話二一二六八八

青年論壇

天上天下唯我獨尊

ソロカバナ　吉田道夫

この短文を讀まれる讀者は私を不斷の人間臆病な人間　三一年型としては虫けらにも劣る青年だと嗤氣するであらうが　私は心にも思はない言辭を弄して上部を飾り度く無い

□

天上天下唯我獨尊と言ふた私自身とても意氣地の無い位は百も承知である筈だが　抑時　轉　悠漠たる感に堪へない　わたしは何ちらかと云へば不言實行と云ふ風に教育づけられて來た　それが故に彼の人達の實際の行爲を觀ると　如何に辭酌して觀ても　何うも自分の心をその何れにも向けやうと言ふ氣になれない　と言つて「酒は呑むべしぐうたらな糞にもならぬ生活百藥の長」など人間鱈目な生活を續ける程デカタニズムになり切る勇氣を持たぬ　こう云ふ風な活き方を屁にも續けてゐる次第で　傍ら天上天下唯我獨尊の言葉に刺激されつゝ何ものかを得んと努力する有樣である　これでは延びると云ふことも考へられない　何處まで行つても所謂譯で　何ぶんなに腕いも向けやうと言ふ氣になれない　生に苦しむのでは無いとさへ思はれる　偶々　私は神の道を說く同輩の言葉を聞く　又共産主義の嘔歌する知人の悲憤慷慨を聞いて　弱いわたしの心に鞭を當てたいと思ふこともある　不味いものを食べるのでは　皆んな弱つて行くばかりにさえ思はれた　まづオイシいのは香香

畑中鹿之助は世を睨する

の日常の行爲そのものを觀る　親から學資を貰つて暮してゐた時とは違ひ　兎にも角にも自營の道を辿つてゐる私は　やゝもすれば生に對する興味を失ひ　前途の生に對する確信を見付け出すに當惑汲々たる有樣である　これでは延びると云ふことも考へられない　何處まで行つても所謂譯で　何ぶんなに腕いも向けやうと言ふ氣になれない　生に苦しむのでは無いとさへ思はれる　偶々　私は神の道を說く同輩の言葉を聞く　又共産主義の嘔歌する知人の悲憤慷慨を聞いて　弱いわたしの心に鞭を當てたいと思ふこともある　不味いものを食べるのでは　皆んな弱つて行くばかりにさえ思はれた　まづオイシいのは香香

説く人　共産社會を夢みる人

ある活き方とは思はない

義に活きることを決して意義

瞞の中にかも知れぬ